

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

# 議会だより

No.68

平成30年11月1日号

今月の渥美半島の花  
「輪菊」



## 平成30年第3回定例会 (8/30～9/21)

- 定例会で決まったこと . . . . . 2
- 平成29年度決算 . . . . . 4
- 一般質問 . . . . . 8

## その他

- 視察報告 . . . . . 14
- 議会の活動 . . . . . 16
- 意見交換会を開催しました . . . . . 17



**活力!** 棚田を未来へ

世代を超えて棚田文化を伝える白谷の「棚田まる会」の皆さんです。  
(インタビュー18ページ)

# 堅実性に努めた 決算を認定

第3回 定例会 (8月30日～9月21日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案 15件  
議員提出議案 1件

第3回定例会は8月30日から9月21日まで開催しました。

平成29年度決算認定を含む市長提出議案15件を、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。

また、「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書」を採択し、国の関係機関に送付しました。

▷関連4～7ページ

平成29年度  
決算を認定しました

議案第61号平成29年度一般会計歳入歳出決算認定ほか7件

9月10日から13日までの4日間、予算決算委員会を開催し、決算内容を審査し、本会議最終日にすべての決算を認定しました。

決算額

歳入総額

458億8820万円

歳出総額

442億 532万円

(一般会計・

特別会計の合計)

※万円未満切り捨て

▽関連4・5ページ





# 厳しい財政変動の中 平成29年度

議案第57号平成30年度一般会計補正予算（第2号）

## 小中学校普通教室に エアコン設置へ

小学校・中学校の普通教室にエアコンを設置するための設計が行われます。また、保育園と小学校・中学校のトイレの洋式化の工事と設計も進められます。



議案第55号公園及び緑地の設置及び管理に関する条例の一部改正

## 堀切地区津波避難マウンド 完成

旧堀切小学校跡地で整備が進められていた津波避難マウンドが完成。防災機能を備えた「ほりきり広場」として利用できるようになりました。



# 一般会計

歳入総額 284億2409万円

歳出総額 277億2044万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

平成29年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満切り捨て)

# 平成29年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月10日から13日までの4日間にわたり、予算決算において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

(質疑は予算決算委員会でのもの)



## 総務費

32億5231万円

まち・ひと・しごと創生推進事業  
(定住・移住促進奨励金など)  
7507万円

- 問** 公共施設適正化は、100人会議などで、いろいろな市民の声を聞いて進めていくべきではないか。
- 答** 行政改革推進研究会や地域コミュニティ協議会などから意見や助言をもらっている。今後も可能な限り市民の声を聞きながら進めていきたい。
- 問** 東京事務所の成果は。
- 答** 観光・物産展の支援や各東京事務所と連携した活動を行うことで、田原市や市の特産品の首都圏での認知度向上につながった。
- 問** 外国人住民アンケート調査でわかったことは。
- 答** 日本語教室に通えない理由で最も多かったのは、近くに教室がないからというものだった。



## 衛生費

24億6822万円

地域医療確保対策事業  
(赤羽根診療所整備など)  
1億34万円

- 問** 医師確保修学資金等貸与を受け、医師となった後、市内渥美病院に勤務せず、修学資金を返還した人はいるのか。
- 答** 今のところはいない。
- 問** 病診連携室の利用内容は。
- 答** 診療連携室から渥美病院への紹介、病院から診療所への紹介と、診療所から病院への検査委託。
- 問** 渥美病院と診療所との連携がもたらす影響は。
- 答** 診療所では、高度医療機器を自己保有しなくても病院の機器を利用できる。患者の方は引き続き地元の診療所で受診できる。
- 問** 斎場建設地地質調査の結果は。
- 答** 建設予定地内の7か所で試験を行い、良好な支持層であるという結果を得た。



## 農林水産業費

18億8562万円

農業経営活性化事業  
(産地パワーアップ事業補助金など)  
2億3742万円

- 問** 耕作放棄地はどれくらいあるのか。
- 答** 平成29年度は449ヘクタール、うち農用地は287ヘクタール。
- 問** 遊休農地をつくらないため、また、解消するための取り組みは。
- 答** 農業委員や農地利用最適化推進委員が遊休農地になる前の農地の掘り起こしをしている。農地を農業の担い手にあっせんする農地バンク事業や国の耕作放棄地対策交付金事業などを活用している。
- 問** 海外販路拡大事業の内容は。
- 答** シンガポールの店舗では7月から8月にかけて、メロン、ミカン、大葉、2月にバラ、スイートピー、グロリオサを、マレーシアの店舗では、豊橋市、浜松市、飯田市と連携し、9月に大葉、11月にミニトマト、セロリの販売促進活動を実施した。



**商工費**  
11億6520万円  
田原めつくんほうすリニューアル  
2億279万円

**問** 農商工連携支援事業の成果は。  
**答** 渥美半島たはらブランドに新たに22品目を認定した。販路開拓事業として実施した首都圏のバイヤー商談会と研修会には、バイヤー5者と市内事業者14者が参加。商談につながった商品もある。

**問** 田原市内宿泊費助成金の実績は。  
**答** 申請件数87件、宿泊者は3853人、延べ7906泊。

**問** 小学生は助成金の対象外となっているが、対象とすれば宿泊者が増えるのではないか。  
**答** 投資に対する経済性を考え、子ども料金の設定のある小学生は対象としない方針としている。現在のところ、この方針に変更はない。



**消防費**  
19億5387万円  
津波避難マウンド整備  
5億1102万円

**問** 東三河5市3町村の1119番通報を受信している東三河消防指令センターでの、1日の受信件数は。  
**答** 平成29年度は1日平均1115件。

**問** 職員は何人で対応しているのか。  
**答** 通常9人で対応している。

**問** 災害が心配される場合、指令台は何台で対応しているのか。  
**答** 通常は6台、災害時などは最大12台で対応している。

**問** 愛知県消防操法大会は、毎年7、8月の暑い時期に開催されているが、開催時期変更の要望はないか。  
**答** 現在のところはない。県にも要望は出ていない。

**問** この時期に開催されている理由は。  
**答** 全国大会が10月ごろに開催されるため、県大会はこの時期となっている。



**教育費**  
32億6317万円  
渥美運動公園体育館耐震改修  
1億447万円

**問** 学校司書の活動実績は。  
**答** 学校司書9人が、1人あたり2、3校を担当。子どもたちに本を紹介したり、読み聞かせの会を開いたりしている。中央図書館と連携し、学習に必要な資料や本などを学校に届けるシステムもできている。

**問** 学校給食に地元の食材はどの程度使われているのか。  
**答** 野菜と米の使用量の52%が地元食材。野菜などは地域の農家グループである「にんじんの会」、愛知みなみ農協、青果納入組合から購入しており、青果納入組合へは地元野菜を優先していただくようお願いしている。

## 特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

会計	区分	歳入総額	歳出総額	差引額
特別会計	国民健康保険	93億 414万円	88億 5242万円	4億 5172万円
	公共下水道事業	17億 6107万円	16億 9227万円	6880万円
	農業集落排水事業	6億 5809万円	5億 5361万円	1億 448万円
	田原福祉専門学校	1億 1906万円	1億 1906万円	0円
	介護保険	48億 7133万円	45億 1964万円	3億 5169万円
	後期高齢者医療	7億 5039万円	7億 4785万円	254万円
水道事業会計(企業会計)		収益的収入14億 994万円	収益的支出12億 5604万円	1億 5390万円

※万円未満切り捨て



■平成30年第3回定例会議案一覧

議案 番号	54	55	56	平成30年度補正予算	57	58	59	60	平成29年度歳入歳出決算認定	61	62	63	64	65	66	67	68	議案 番号	意見書1	
	教育委員会委員の任命 (天野 千栄子 氏)	公園及び緑地の設置及び管理に関する条例の一部改正	市立学校設置条例の一部改正		一般会計(第2号)	国民健康保険特別会計(第1号)	公共下水道事業特別会計(第1号)	農業集落排水事業特別会計(第1号)		一般会計	国民健康保険特別会計	公共下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計	田原福祉専門学校特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	水道事業会計利益の処分及び決算認定		議員提出議案	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

## 主な質疑

議案に対する  
委員会・本会議での  
議員の質疑・意見です

議案 No.55

### 堀切地区津波避難マウンド完成

#### ほりきり広場として供用開始

ほりきり広場の管理方法は、

可能な範囲で地元自治会などに委託する方向で調整中である。

津波避難マウンドの頂上部分は、市民が自由に登ったり下りたりできるのか。

ほりきり広場は防災機能を備えているが、平常時は公園広場として、ウォーキングなど、誰でも自由に登り下りできる。



### ■意見書を交付しました

田原市教員組合執行委員長 長尾英雄氏からの陳情を受け、9月7日の文教厚生委員会での審議後、9月21日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、文部科学大臣などに意見書を提出しました。

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

#### (意見書の内容)

- ・ 小学校・中学校の少人数学級の拡充を含めた教職員の定数改善計画を早期に策定し、実施すること
- ・ 義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国庫負担率を2分の1に還元すること

### ■陳情書を審議しました

9月7日の文教厚生委員会での陳情書を審査した結果、いずれも「不採択」と決定しました。

▽国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

▽愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

(9) / 7 総務産業委員会

# 賛否が分かれた議案

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。  
 今定例会では、以下の議案の賛否が分されました。賛成・反対の討論はこの表の下に掲載しています。  
 また、その他の議案は、全会一致で可決しました。

議案番号	議案名 (一部省略)	結果 (賛成: 反対)	中神 靖典	仲谷 政弘	太田由紀夫	赤尾 昌昭	河邊 正男	廣中 清介	森下田嘉治	岡本 禎稔	平松 昭徳	杉浦 文平	小川 貴夫	大竹 正章	長神 隆士	荒木 茂	彦坂 久伸	辻 史子	古川 美栄	渡会 清継	
61	平成29年度歳入歳出決算認定 一般会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
62	平成29年度歳入歳出決算認定 国民健康保険特別会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
66	平成29年度歳入歳出決算認定 介護保険特別会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない



## 討 論

議案に対する  
 本会議での議員の  
 賛成・反対の表明です

### 議案 No.61

#### 反対 (河邊正男)

法人税の超過課税をすれば、給食費の無料化や18歳までの医療費無料化など、教育・福祉の充実ができる。

#### 賛成 (岡本禎稔)

年度末における市債残高は減少しており、財政健全化判断比率の数値も、健全な財政運営に十分配慮した内容と考える。

### 議案 No.62

#### 反対 (河邊正男)

安心して医療にかかれるよう、高過ぎる国保税から誰もが払える国保税にするべき。

#### 賛成 (中神靖典)

健全で持続可能な医療制度の運営に努めたものである。

### 議案 No.66

#### 反対 (河邊正男)

給付は支払い能力でなく必要に応じて、負担は給付でなく支払い能力に応じて考えるべき。

#### 賛成 (平松昭徳)

介護サービス利用に対する保険給付は適正に行われており、介護予防や高齢者支援も積極的に取り組まれている。

### ■陳情書を審議しました

9月7日の総務産業委員会での陳情を審査した結果、すべて「結論を得ず」と決定しました。

▽最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書

▽適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書

▽すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書

▽住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書

▽地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書

▽沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書



ここが聞きたい

# 一般質問



議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます。

[www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/](http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/)

田原市議会

インターネット議会中継

生中継・録画中継

## 乳児用液体ミルクを備蓄品として活用すべきでは

流通の動向を注視し、有効だと判断できれば、活用していく



辻 史子

公明党田原市議団

### 災害時に有効な乳児用液体ミルクについて

**問** 乳児用液体ミルクは、利便性に優れ、災害時には大変有効である。大規模災害に備えて、小売店との協定も含め備蓄品として活用すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 液体ミルクの流通の動向を注視し、有効であると判断できた時は、速やかに活用できるよう対応していく。

**問** 虐待の防止に向け、相談機能の充実が必要だが、どのような取り組みを考えているのか。

**答** 三河田原駅前に建設中の親子交流施設に、妊娠から子育て期まで切れ目のない支援ができる妊娠・出産・子育て総合相談窓口を設置する。また、教育サポートセンターの充実や学校にスクールソーシャルワーカーを配置するなどの相談体制を整えている。

### 子どもの命を守る防犯・防災対策について

**問** 通学路には、子どもたちを見守る目や環境整備が不十分な場所がある。危険箇所の改善対策は。

**答** 現在、通学路の点検をしている。現場の状況から、パトロールコースの変更、障害物の撤去、必要であれば防犯カメラの設置など、関係機関と連携して対策を進める。

### SDGs(※)(持続可能な開発目標)の推進について

**問** SDGsの理念を市民に周知していくことが推進の第一歩ではないか。

**答** 広報たはらや市のホームページなどで周知を図る。



(※) エスディージーズ。Sustainable Development Goalsの略称。平成27年の国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための17の国際目標で、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



## 廃校となった施設の現状は

旧伊良湖小学校の利活用は今年度中に方向性を決める



長神 隆士  
自民クラブ

### 豪雨災害に備えた取り組みについて

- 問** 大規模災害時には医療救護所が開設されるが、医療資材などの備えはどのようになっているのか。
- 答** 医療救護所は、地震避難所の小中学校8か所に設置する。医師用の災害用救急医療セットを配備し、医療現場として対応できるように備えている。

### 廃校施設の有効活用について

- 問** 廃校となった施設の現状と課題は。
- 答** 旧堀切小学校は、跡地に津波避難マウンドが建設された。旧伊良湖小学校の利活用は今年度中に方向性を決めていく。旧野田中学校は「ふるさと教育の拠点」として、来年10月の開設に向け準備している。今後、赤羽根中学校と統合する泉中学校と伊良湖岬小学校が新設校へ移った後の旧和地小学校の利活用の検討が課題である。

- 問** 泉中学校と旧和地小学校の利活用は、公共施設適正化計画に基づいて検討していくのか。
- 答** 公共施設適正化計画に基づき、学校全体配置計画を、新たに学校未来創造計画として見直している。今年度中の策定を目指し、その中に廃校利用の方針を盛り込んでいく。
- 問** 子どもたちが集う校区の拠点であった学校施設が廃校になるのは、地域にとっても寂しい。今後、廃校施設は有効活用していくのか。
- 答** 廃校イコール撤去ではなく、施設の有効活用を検討していく中で、地域との協議も重ねながら、廃校が地域の活力を奪うことのないように配慮していく。



- P 8 辻 史子 災害時に有効な乳児用液体ミルクについて  
子どもの命を守る防犯・防災対策について  
SDGs（持続可能な開発目標）の推進について
- P 9 長神 隆士 豪雨災害に備えた取り組みについて  
廃校施設の有効活用について
- P 10 仲谷 政弘 スクールバスとコミュニティバスの運営状況と今後の取り組みについて
- P 11 彦坂 久伸 家庭系ごみの有料化について  
教職員の多忙化解消について
- P 10 古川 美栄 農業基盤整備の状況と今後について
- P 12 岡本 禎稔 本市の農業における外国人技能実習制度の活用について
- P 13 小川 貴夫 観光まちづくりの推進について  
「育てる漁業」の取り組みについて
- P 12 河邊 正男 心豊かな平和田原市を  
人口減少とまちづくり
- P 14 杉浦 文平 市長公約の達成と今後の進退について

# スクールバス運営費の増加に対する 取り組みは

運行経費の軽減が図れるよう、直営の運行を含めて検討する



仲谷 政弘  
自民クラブ

## スクールバスとコミュニティバスの運 営状況と今後の取り組みについて

- 問** 平成29年度のスクールバスにかかる総費用は約6,100万円。今後、福江中学校、赤羽根中学校への統合があり、スクールバスの増発に伴い、運営費が多くかかると考えるが、市の取り組みは。
- 答** 通学の安全性や利便性を確保し、運行経費の軽減が図れるよう、直営も含め検討する。
- 問** スクールバスを地域のホテルなどの民間事業者に委託する考えはあるのか。
- 答** 民間事業者との使用時間の重複、事故発生時や緊急時の対応、責任の所在など課題が多く、現在のところ考えていない。
- 問** コミュニティバスの運行コストを下げる手段として、デマンド方式(\*)の考えはないか。
- 答** ぐるりんミニバスの運行経費などを勘案し、定時運行よりも適切だと判断した場合は検討していく。

(\*) 利用者の要求に対応して運行する方式。

- 問** ぐるりんバス、ぐるりんミニバス8路線の中で、1便当たりの乗車目標に達していない5路線はすぐに廃線とするのか。
- 答** 廃線も視野に入れ、コミュニティバス以外の移動手段の確保も検討していく。
- 問** 高齢の方が買い物をした後、荷物を持って歩くのは、バス停から300mが限度だと思う。バス停から半径500mではなく、300mを超える地域を「公共交通空白地域」として検討する考えは。
- 答** 現在のバス停から半径500mを変更する予定はないが、高齢者などへのきめ細やかな対応を検討する際には、半径300mの区域も研究していく。



**問** この事業には農家の負担がいらぬことだが、特別な要件があるのか。

**答** 事業採択の要件は、①事業対象農地のすべてに農地中間管理権が設定されていること、②その設定期間が15年以上あること、③1ヘクタール以上のまとまった農地が合計10ヘクタール以上であること、④対象のうち8割以上が担い手に集団化されること、⑤事業完了後5年以内に事業地域の収益性が20%以上向上すること。

**問** 和地太田地区の耕作放棄地の現状と課題は。

**答** 国庫補助事業「農地中間管理機構関連農地整備事業」の事業採択を受け、平成35年度に完成予定。課題は、借り手である担い手の継続した耕作が行われ、生産性の向上、農業経営の改善につながるものとしていかなければならないこと。

## 農業基盤整備の状況と今後について

### 将来に向けた農業生産基盤 整備は

担い手が必要とする生産効率の高い農地整備が必要



古川 美栄  
自民クラブ

## 「部活動指導員」の配置効果は

担当教員の負担を大きく軽減している



彦坂 久伸  
市民クラブ

### 家庭系ごみの有料化について

- 問** 2月の有料化実施時に混乱などはなかったのか。
- 答** 3月から4月にかけて新しい指定ごみ袋が一部の販売店で品不足になったものの、おおむね順調にスタートできた。
- 問** 平成32年度までに1人1日あたりのごみ排出量を430gに減少させるというごみ減量の目標をどの程度まで達成できると見込んでいるのか。
- 答** 有料化実施後、ごみの量は減少しているが、目標達成にはより一層の努力が必要と考えている。
- 問** 今後、ごみ袋の種類を増やす考えはあるのか。
- 答** 現在最小の10ℓより小さな袋、例えば5ℓの袋など、市民の意見を聞きながら検討していく。



### 教職員の多忙化解消について

- 問** 福江中学校への「部活動指導員」の配置効果は。
- 答** 専門的な観点からの練習メニューの作成やアドバイスなど、担当教員の負担を大きく軽減している。
- 問** 学校における働き方改革・多忙化解消は本当に進んでいるのか。
- 答** 今までの働き方を急には変えられない教職員もいる。個々に働きかけるとともに、学校全体、市全体として多忙化解消が進むように知恵を出し合っ取り組んでいきたい。
- 問** 多忙化解消には、教職員の定数増や35人学級または30人学級が不可欠ではないか。
- 答** 35人または30人学級実現への要望は、国・県に対して引き続き行っていく。さらに、教職員の多忙化解消につながる人的配置ができるように市として努力していく。

- 問** 豊川用水二期事業の追加工事予定は。
- 答** あつみ大山トンネルの出入口付近から小塩津池までの併設水路と小塩津池の耐震補強が予定されている。
- 問** 西山・伊良湖地区は台風などの大雨で頻繁に冠水するが、基盤整備の状況は。
- 答** 伊良湖3期地区として事業実施に向けて調整している。地元も早急な着手を希望しており、事業採択に向けて準備を進めている。
- 問** 将来に向けた農業生産基盤整備をどう考えるのか。
- 答** 担い手が必要としている集積・集約化された生産効率の高い農地整備が必要である。





# 外国人技能実習生の受け入れ状況は

平成29年度末で942人、年々増加の傾向



岡本 禎稔  
自民クラブ

## 本市の農業における外国人技能実習生の活用について

- 問** 外国人技能実習生の受け入れ状況は。
- 答** 推計値で、平成25年度末が807人、平成29年度末が942人となっており、年々増加傾向にある。最も多い中国人の比率は、平成25年度末は80%であったが、平成29年度末は45%に減少している。
- 問** 平成29年11月1日に新しい法律が施行され、外国人の技能実習の最長期間が3年間から5年間になった。受け入れ農家のメリットとデメリットは。
- 答** メリットは経験を積んだ技能実習生に継続して実習してもらえること。デメリットは特にない。
- 問** 外国人技能実習生への日常生活におけるサポートは。
- 答** 外国語表記の生活ガイドブックやごみカレンダーの提供、ごみの分別や防災などの講座への講師派遣などを行っている。

- 問** 困り事などの相談窓口は。
- 答** 市からたはら国際交流協会に委託し、外国人向けの相談窓口を開設している。
- 問** 愛知県が国家戦略特区の認定を受けた「農業支援外国人受入事業」が始まったが、市の対応は。
- 答** 動き始めたばかりなので、状況を注視している。農業技能実習生をはじめとする農業人材確保のため、外国人が不自由なく暮らせるよう関係部署で連携して対応していく。



## 心豊かな平和田原市を

前向きに検討していく

核兵器廃絶と恒久平和を目指し  
「田原市非核・平和宣言」を！



河邊 正男  
日本共産党田原市議団

- 問** 核兵器廃絶と恒久平和を目指す「田原市非核・平和宣言」をするべきではないか。
- 答** 「非核・平和宣言」について前向きに検討していく。何かの節目の時にと考えている。
- 問** 渥美半島戦争遺跡を後世に伝えるため、戦争遺跡資料館をつくるべきではないか。
- 答** 既存の施設を活用し、戦争遺跡だけでなく、近代の田原市の歴史も後世に伝えていく形を検討している。場所は渥美地域も含め、総合的に検討していきたい。
- 問** 市主催の戦没者追悼式を平和祈念式典として発展させるべきではないか。
- 答** 今年度の式典では、遺族に限らず、一般市民の方などにも献花していただいた。より多くの方が参加できる式典となるよう、今後も開催方法を検討していく。

## 温泉を地域資源とする今後の方向性は

非常に有効な観光資源と考える。利活用方法など関係機関と調整していく



小川 貴夫  
自民クラブ

### 観光まちづくりの推進について

**問** 愛知県大型観光キャンペーンを契機とした受入体制の整備状況は。

**答** 10月から体験型観光プログラムを集めた「観光体験博覧会 たはら巡り～な」を開始。田原めっくんはうすの情報コーナーと観光案内所を一元化し、観光情報端末を設置。また、11月に全国井サミットinたはら2018を開催予定。田原駅前に電動アシスト自転車のレンタサイクルを整備予定。

**問** 実践型地域雇用創造事業は地域雇用創造協議会が地域商社となって事業を継続していくのか。

**答** 今後、DMO（※）を含めた観光推進組織を検討するなかで、実践型地域雇用創造事業を含めて調整していく。

**問** 温泉を地域資源とすれば、地域の機運も高まると考えるが、今後の方向性は。

**答** 地域資源として活用できれば、非常に有効な観光資源になると考える。宿泊事業者の需要や地域での利活用など、関係機関と調整していく。

### 「育てる漁業」の取り組みについて

**問** 豊川河口の六条潟でアサリの稚貝が確保できない原因は。

**答** 県水産試験場が調査しているが、原因究明には至っていない。今後も継続して調査していく。

**問** 干潟・浅場造成事業の進捗は。

**答** 航路の浚渫による機能回復と良質な砂利を活用したアサリ漁場の整備が行われる。

**問** 海の環境改善はどのように進めていくのか。

**答** 育てる漁業を進めるため、漁業協同組合からの要望は市で実施のほか、国や県にも働きかけていく。

(※) ディーエムオー。Destination Management Organizationの略称。地域の観光資源を活用し、地域と協同して観光地域づくりのかじ取り役を担う法人。

### お知らせ information

#### 平成30年第4回定例会（12月議会）会期

12月3日(月)～17日(月)

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29	30	12/1
2	3	4	5	6	7	8
	本会議 (議案審査)		本会議 (一般質問)			
9	10	11	12	13	14	15
	文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会		議会運営委員会 ・同協議会		
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 (採決等)					
23	24	25	26	27	28	29

10:00 開会

(10日 総務産業委員会…13:30開会)

日程及び時間は、変更になる場合があります。

- 人口減少とまちづくり**
- 問** ふるさと学習は、まちづくりの根幹を担う事業だと思ふが。
- 答** ふるさと学習・ふるさと教育を通じてふるさとへの誇り、愛情、愛着が育まれると、地域貢献の意識が生まれ、地域の活性化も推進される。
- 問** 汐川干潟・吉胡貝塚の魅力をさらに引き出すため、古代ロマンをアニメーションで紹介するべきでは。
- 答** 現在でもSNSなどで映像や動画を情報発信している。アニメーションに限らず、映像の活用を今まで以上に考えていく。

## 市長の今後の進退は

引き続き市政運営にまい進したい



杉浦 文平  
無所属クラブ

### 市長公約の達成と今後の進退について

**問** 平成27年の市長選挙における3つの提案の達成度と総括は。

**答** ①「地元産業を元気に」では、基幹産業である農業の収益力と生産基盤を強化し、国際競争にも太刀打ちできる農業の確立に努めた。また、東京事務所を開設し、幅広いシティセールスを推進した。人口増加のため、定住・移住促進奨励金制度の創設やサーフタウン構想など、地方創生を進めた。  
②「教育環境の拡充」では、小中学校のトイレの洋式化、スクールソーシャルワーカー増員など学習環境向上に努めた。  
③「医療、防災の見直し」では、赤羽根診療所の開設、堀切地区の津波避難マウンドの建設など、地域の医療対策、災害に強いまちづくりを進めた。3つの提案は、概ね達成できたと認識している。

**問** 3つの提案の未達成部分の課題、新たに発生した課題への対応は。

**答** 人口減少が3つの提案に共通する大きな問題。これまでの施策をさらに強力に展開し、人口の確保に力を注ぐ。そのためには、雇用確保、人材育成とともに産業基盤の充実が必要。また、充実した子育てサービスの展開がカギである。

**問** 市長は来年4月に任期満了を迎えるが、今後の進退は。

**答** 事業を推進する中で様々な問題があり、的確に対処する必要がある。それを担うことが責務、使命だと思うので、引き続き市政運営にまい進したい。



視察報告書の詳しい内容は、田原市議会HPをご覧ください。田原市議会HP▷市議会の案内▷各種報告書▷■行政視察報告書

### 議会視察報告

## 広報広聴特別委員会

(7月4日～5日)



#### 【視察テーマ・場所】

- ・「議会の広報広聴活動について」  
「広報広聴活動を行う組織体について」  
(愛知県岩倉市)
- ・「議会の広報広聴活動について」  
「広報広聴委員会について」  
(石川県白山市)

#### 【参考になった点・所感】

##### 愛知県岩倉市

- ・ 議会報告会・意見交換会は、要綱が定められており、開催時期、目的、運営、開催後の対応なども明記され、全議員が共有できている。
- ・ 広聴活動は若者や外国人を対象にしたり、ショッピングセンターで開催するなど、幅広い意見聴取ができています。



## 議会視察報告

# 議会運営委員会

(6月26日～27日)



### 【視察テーマ・場所】

- ・「委員会を中心にした政策形成サイクルについて」  
(岐阜県高山市)
- ・「委員会代表質問と政策サイクルについて」  
(岐阜県可児市)

### 【参考になった点・所感】

#### 岐阜県高山市

- ・市民との意見交換会で出された意見を、委員会において取り組むべき政策課題として集約し、調査研究や議論を積み重ねた後、全議員での討論、合意を経て政策提言がなされる仕組みは、田原市議会でも必要と考える。

## 議会視察報告

# 総務産業委員会

(7月23日～25日)



### 【視察テーマ・場所】

- ・「公営住宅のあり方について」(茨城県ひたちなか市)
- ・「市街化調整区域での地区計画による産業立地誘導について」(千葉県佐倉市)
- ・「シティセールスについて」(神奈川県三浦市)

### 【参考になった点・所感】

#### 神奈川県三浦市

- ・シティセールスに限らず、市の事業を進める場合、新規性・独自性を重視したアイデアで地元企業との連携や地域資源の掘り起こしを展開している。田原市も地元企業と連携しながら、地域の活性化を図ることが可能ではないか。

## 議会視察報告

# 文教厚生委員会

(7月11日～13日)



### 【視察テーマ・場所】

- ・「廃校施設の有効活用について」  
(茨城県かすみがうら市)
- ・「学校再編と小中一貫校、小規模特認校について」  
(宮城県栗原市)
- ・「家畜排泄物と食品廃棄物によるバイオマス利活用について」  
(岩手県雫石町 (株)バイオマスパワーしずくいし)

### 【参考になった点・所感】

#### 宮城県栗原市

- ・小中一貫校は、小中の継続性があり、教員相互の交流が図りやすい、他学年との交流がしやすく社会性や協調性を身につけやすいなど、子どもたちの心理的負担を軽減できると思う。

8月7日  
豊橋・湖西・田原市議会議長協議会  
要望活動



浜松三ヶ日・豊橋道路早期実現などを国土交通省中部地方整備局に要望しました。

7月31日  
東三河8市町村議員 研修会



東三河8市町村の議員・議会事務局職員が集い、「地方行財政の諸課題」についての講演を聴講しました。

7月3日  
設楽町議会との交流



田原市議会議員が設楽町を訪問。設楽ダム転流工の工事現場などを視察しながら、交流を図りました。

7月24日・8月23日  
愛知県後期高齢者医療  
広域連合議会



7月24日に臨時会、8月23日に定例会が開催され、田原市議会代表の森下田嘉治議員が出席しました。

8月17日  
文教厚生委員会  
渥美病院 意見交換会と視察



文教厚生委員会が、渥美病院との意見交換会と渥美病院の視察を行いました。

8月8日・9日  
東三河広域連合議会



定例会が開催され、田原市議会選出の太田由紀夫議員、彦坂久伸議員、長神隆士議員が出席しました。

## 広報広聴のあり方・組織体制について方針をまとめました

田原市議会基本条例にある「市民に開かれた議会」のため、さらに、二元代表制における議会の役割を果たすためには、市民との情報共有や市民との対話など、広報広聴活動が必要であり、また、市民からも求められています。

田原市議会広報広聴特別委員会では、平成27年から広報広聴のあり方と組織体制の検討を行ってきました。今年6月の中間報告の後も研究を重ね、委員会としての方針をまとめました。検討の結果、次のように提言することとしました。

### ■ 提言

- 1 案件の審議が終わると消滅する「特別委員会」は、広報広聴活動の現状にそぐわない。
- 2 議会基本条例に基づいた「協議等の場」または「任意の会議体」のいずれかとする。
- 3 広報広聴活動だけでなく、議会基本条例の推進と検証を行うことも所管とする。

## 提言書を議長に提出

平成30年8月30日（木）、広報広聴のあり方・組織体制についてまとめた提言を、広報広聴特別委員会から議長に提出しました。

これを受け、議長は「市民に開かれた議会を実現するためには、広報広聴の果たす役割は非常に大きい。この提言をしっかりと受け止め、今後、条例の改正や組織体制の見直し等に向けて、議論を重ねていく」とコメントしました。





# 市民と議会との意見交換会

## テーマ：「若者が暮らしやすいまちづくり」

市民の皆さんと議員が車座になって、テーマについて意見を交換する会を開催しました。

8月2日(木)：田原文化会館 201 会議室・赤羽根市民館会議室・渥美文化会館大会議室



3会場で、49人の方にご参加いただき、多くの意見をいただきました。

## 市民の声

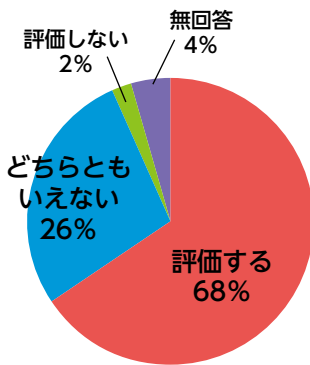
あなたも自分の声を  
議員に伝えて  
みませんか？

### (主な意見)

- 収入がなければ暮らせないので、まずは仕事  
が大事。また、買い物は毎日のことなので、  
買い物しやすい環境があることが暮らしやす  
さには重要だと思う。
- 渥美半島のデメリットは公共交通機関が弱い  
ところ。それを整備できれば暮らしやすくな  
ると思う。
- 豊橋市から田原市に移住した。自然も多いし、  
今は住みやすいと自分は思っているが、全員  
に住みやすいと思ってもらわないと定住には  
つながらない。職と住む場所、食べ物があれ  
ば住める。
- 田原市の良いところは、食べ物が豊富なこと。  
今後どのような時代になっても、災害時であつ  
ても、食事に困らない渥美半島であって欲し  
いと思う。

### 〈参加者のアンケートから〉

#### ■ 意見交換会はどうでしたか



### アンケートの自由意見から

自由に意見が言い合える雰囲気だったので

もっと具体的なテーマにして多くの地域住民の方からの  
意見も聞けると良いのではないかと。

議員がチラシを配って  
意見交換会をPRしました。







# まちかど インタビュー

Vol.19 棚田まもる会  
の皆さん

## 棚田を通じて世代を超えたつながり

— どのような活動をしていますか？

白谷地区の耕作されなくなった棚田20枚、26アールを借りて、もち米作りをしています。収穫したもち米は、地元八柱神社に奉納するほか、地主さんや会員に配分し、その他は希望する方に販売しています。また、わらは、八柱神社のしめ縄を作っています。

— この活動のきっかけは？

最後まで棚田で耕作されていた方が平成23年に亡くなり、かつて何百枚もあった棚田も、そこでの米作りも完全に消えてしまう恐れがありました。狭い沢の傾斜に、石垣を組んで造られた白谷の棚田は、先祖が残した貴重な遺産です。未来を担う子どものために地域の大事な景観を残していくこと、平成24年から取り組みを始めました。



— 会員の構成は？

白谷在住の30〜80歳代と幅広い年齢の25名で活動しています。

この会の名称は、最後まで棚田を耕作していた方の名にちなんで、「棚田まもる会」としています。

— 地域への広がり？

田植えや稲刈りの時期には、地域の子どもたちも加わり、にぎやかに作業を行います。子どもたちは、田植えや稲刈りを楽しみにしており、参加者は年々増えています。そのような子ども姿を見ることが、棚田の活動に取り組んでいる会員たちの大きな喜びにもなっています。この体験は、子どもの成長の上で、きっと良い肥やしとなると思います。

— 今後の目標や夢は？

この棚田での米作りが、10年、20年と引き継がれていくことが目標です。棚田を通じて、みんなで汗を流して働くことで、楽しみや協働の精神が生まれ、世代を超えた絆が深まっていくなことを「棚田まもる会」の夢です。

(聞き手：平松昭徳)



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ [gikai@city.tahara.aichi.jp](mailto:gikai@city.tahara.aichi.jp)

**募集** **パートさん**  
しその葉の摘み取り作業

**募集** **内職さん**  
しその葉の結束・バック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

**TEL 0531-37-0447**

**(有)前田園芸** 田原市江比間町二字郷中45  
自宅: TEL0531-37-0447

## 社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園  
特別養護老人ホーム 田原福寿園  
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里  
ケアハウス パシフィック  
特別養護老人ホーム 渥美福寿園  
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】 田原市六連町神ノ釜 9-3  
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828